

名建築

北斗工機株式会社新社屋



SANKO WORKS

北海道・東北エリア



SANKO TECH

ちょっとやさしい技術のはなし



FOCUS ON ARCHITECTS

高野洋平さん 森田祥子さんに聞く



未来をひらく 北の大地の大らかな新社屋

北斗工機株式会社新社屋

外観。黒色に近い凹凸のある金属サイディングとLow-E複層ガラスで構成されたファサード。光をできるだけ取り入れられるよう窓を配置

北斗工機株式会社



代表取締役 社長
須藤 聡 氏

技術部 部長
伊田 清作 氏

■プラントエンジニアの未来を担う

北斗工機株式会社は1955年に創業。小麦やいもでん粉、穀物の乾燥機を主軸として、農業プラントエンジニアリングに特化した多彩な事業展開を行っています。2023年4月、札幌駅から北東へ車で約20分ほどの札幌市西区に新社屋が完成しました。

自然の息吹や光を感じながら仕事に向き合える、ときにはホッとひと息つくように心と身体を休めることができる、そんな大らかでやわらかな時間が流れるオフィスを目指しました。社長をはじめ、

社員一人ひとりの仕事への想い、オフィスへのこだわりを建物と空間で表現しています。

■北海道の光・原風景をオフィス空間に

社員34名の事務所ですが、近年社員が増え、事務所が手狭になっていたこともあり、当社の研究施設がある近隣の敷地を取得して、移転新築しました。

新しいオフィスは、①自然素材を可能な限り使用する、②吹き抜けを設け自然採光を可能な限り取り入れる、③働きやすいオフィス空間のレイアウト、などをコンセプトに計画が進められました。社長と多くの社員が空間からディテールまで、検討に参加。働きやすい空間について、設計者や協力会社と何度も打ち合わせを重ねました。照明、什器、事務機器などは、数名の社員が、設計者と一緒に東京の展示場へ足を運び、実物を見て選定しています。

■先達への感謝と技術を次世代につなぐ

1階エントランスには、先達への感謝

と敬意を込めて、会社ロゴを掲げました。壁面は、北海道の自然素材でお客さまを温かく迎えたいという想いから、やわらかい表情をもつ札幌軟石を採用。

1Fホールのシンボルアートは、当社の先進性と遊び心を表現しました。2階の執務スペースには、木材を随所に取り入れるとともに、機能性の高いデスクが配置され、落ち着いた空間が広がっています。また、今後さらに社員が増えても対応できるよう、ミーティングルームやフリースペースをフレキシブルに配置しています。食や自然への感謝を表す意味の「HINNA CAFE」と名付けたカフェスペースも設けました。憩いの場所であるとともに、アイデアを考えたり、コミュニケーションを取ったりできる場所として、幅広く活用されています。

2025年には北斗工機は創業70周年を迎えます。この新社屋で、ますます農業の発展、情熱を持ったエンジニアの輩出に貢献していきたいと考えています。



2階執務空間。自然の素材や光を感じながら仕事に向き合える「最高のオフィス」



水紋のように広がる照明も社員みんなで選んだもの。1階総務部・役員エリアの落ち着いたきと2階技術部エリアの活気の両方が感じられる吹き抜け空間



1階ホール正面のシンボルアート。「農業生産者と消費者をつなぐブランド、その技術を預かり未来へつなぐ」北斗工機が担う役割をイメージしている



2階技術部エリア。社員増員にも対応可能な計画



食や自然への感謝を表す意味を持つ「HINNA」と名付けられたカフェスペース

株式会社北農設計センター



設計部 設計部長
越中谷 伸洋氏

技術部 主任
松浦 友紀氏

■ご要望を形にしていく楽しさと難しさ

2021年春からプロジェクトに携わっています。計画の過程においてはコロナ禍により、ご要望を直接聞き取り、提案

する打ち合わせの場面が制限され、資材高騰の影響下での設計監理であったため、コスト管理の難しさを感じました。オフィス空間のレイアウトについては、協力会社さまからのアドバイスをいただきながら「機能的で適度な距離感の什器レイアウト」「非日常の空間スペース」「緊張と緩和の切り替えが可能なりフレッシュスペース」など、ご要望を取り入れた建物になったと思います。

■信頼と実績のエクスロン防水を採用

北海道は積雪に関しての配慮も必要で、今回も敷地条件から周囲へ雪を落とすこ

とができないため、庇のない無落雪屋根としました。屋根防水については施主、工事施工者、設計者において大きな要素の一つであり、防水性の高さは非常に重要な選定基準です。そこで耐久性・防水性などの観点や過去の実績からも、三晃金属工業のエクスロン防水を採用しました。

新社屋完成後に、実際のオフィスの使い心地を伺いましたところ、「最高のオフィス」と言っていただき、社員のみならずお客様の想いを具現化することができ、嬉しく思います。



陸屋根は全面にエックスロン防水での施工



エントランス車寄せ。天井はアルミスバンドレル



外壁頂部とエックスロン防水との
取り合い



エックスロン防水施工仕上がり

■ 施工に携わって

三晃金属工業(株) 北海道支店

屋根はエックスロン防水、外壁はケイミューの断熱パネルで施工しました。エントランス車寄せの天井部分はアルミスバンドレルで仕上げています。

札幌地区は雪が1m以上積りまゝるので、水仕舞に配慮し、確実に作業を行いました。外壁に凹凸があることが外観の特徴ですが、その外壁凹凸とエックスロン防水との取り合い、また、窓が多かったため、サッシとの取り合いなども、注

意深く施工しています。

施工時期は2022年9～10月の1ヵ月ほど。降雪時期の前に仕上げることで済みました。エックスロン防水は、鉄板を使っていますので、外からの力(積雪荷重)にも強く、鳥害(鳥がつついたりして穴を開けてしまう)などの心配もなく、防水性に優れており、とくに北海道では非常に多く採用されています。

建築概要

所在地	北海道札幌市西区八軒10条西12丁目1番20号
事業主体	北斗工機株式会社
敷地面積	2,583.38㎡
建築面積	674.22㎡
延床面積	1,137.60㎡
構造規模	鉄骨造 地上2階
屋根仕様	エックスロン防水 / エックスロン鋼板 t=0.4mm 675㎡
設計	(株)北農設計センター
施工	株砂子組
竣工	2023年3月

浅野燃糸(株)福島工場新築工事

所在地：福島県双葉郡双葉町
 設計：(株)現代設計事務所
 施工：TSUCHIYA(株)



製品仕様

【屋根】サンコーフラットI型/カラーガルバリウム鋼板 t=0.6mm 4,632㎡
 ハイタフEG/エチレンプロピレンゴム系 t=1.52mm 2,110㎡
 エックスロン防水樋/エックスロン鋼板 t=0.6mm 227m

POINT

丸みを帯びた独特の形状は、屋根の長さが1本ずつ異なり、全254種類を現場成型で施工しました。曲面の樋はハイブリッド防水のエックスロン防水樋で仕上げ、復興シンボルの建物としてもきれいな仕上がりとなっています。

つがる市総合体育館建設工事

所在地：青森県つがる市
 設計：アール・イー・ビー開発(株)
 施工：竹中工務店・伊藤鉱業特定建設工事共同企業体



撮影：(株)エスエス



撮影：矢野圭一



撮影：矢野圭一

製品仕様

【屋根】ハイタフEG/エチレンプロピレンゴム系 t=1.52mm 6,752㎡

POINT

メインアリーナ、サブアリーナ・武道場の屋根には、スポーツや各種催事、災害時の避難施設など多目的に利用されることを想定し、断熱性能、遮音性能に優れた複合耐火仕様のハイタフEGを採用いただきました。



Web版では製品名をクリックすると該当の製品ホームページへ移行します。

大崎市役所本庁舎新築工事

所在地：宮城県大崎市

設計：(株)久米設計

施工：橋本店・村田工務所・荒谷土建特定建設工事共同企業体



製品仕様

【屋根】立馳SX-40／カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 83㎡

【外壁】サイディングハイシャドー／フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.6mm 243㎡

サイディングハイシャドー／フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.6mm 604㎡

POINT

トップライト廻りをSX-40、目隠し壁をハイシャドー横張・縦張で施工し、きれいな仕上がりとなりました。

(仮称)新・道の駅「やまだ」建設工事

所在地：岩手県下閉伊郡山田町

設計：(株)武田菱設計

施工：(株)八幡建設



製品仕様

【屋根】立馳SX-40／カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 1,864㎡

ルーフデッキ／カラーガルバリウム鋼板 t=0.8mm 240㎡

POINT

馳高の高いSX-40によって縦のラインが強調されています。また、板厚0.5mmの屋根材にウェーブ加工を施し、長尺屋根の歪みに配慮した仕上がりとなっています。



Web版では製品名をクリックすると該当の製品ホームページへ移行します。

かるまい交流駅(仮称)整備事業建築工事

 Web版にてドローンによる空撮動画を掲載しています



製品仕様

- 【屋根】ハイタフEG/エチレンプロピレンゴム系 t=1.52mm 2,491㎡
- 立馳SX-40/カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 223㎡
- エックスロン防水/エックスロン鋼板 t=0.4mm 169㎡
- 【外壁】サイディングSXラインウォール/カラーガルバリウム鋼板 t=0.6mm 89㎡

所在地：岩手県九戸郡軽米町
 設計：(株)武田菱設計
 施工：昭栄建設(株)



POINT

ハイタフ屋根が段々に設置され、2階屋根先端部をハイタフメタルで加工し、スッキリした形状となっています。吹き抜け部分の屋根をSX-40、外壁はSXラインウォールをマットな銀黒色で施工し、調和のとれた色彩でアクセントになっています。

大林組仙台梅田寮



製品仕様

- 【屋根】立馳SX-40/カラーガルバリウム鋼板 t=0.5mm 1,276㎡
- 【外壁】サイディングSXラインウォール/カラーガルバリウム鋼板 t=0.6mm 408㎡

所在地：宮城県仙台市青葉区
 設計：(株)大林組東北支店一級建築士事務所
 施工：(株)大林組東北支店



撮影：(株)エスエス

POINT

額縁を板金加工物で囲い、SX-40・SXラインウォールの立馳を屋根・外壁に施工したことで、シャープできれいな仕上がりとなっています。



Web版では製品名をクリックすると該当の製品ホームページへ移行します。

根室生産農業協同組合連合会新農業会館 建設工事

所在地：北海道標津郡中標津町
 設計：ホクレン農業協同組合連合会・北農設計センター・
 三菱地所設計 設計監理共同体
 施工：宮坂・島影特定建設工事共同企業体



製品仕様

【屋根】 エックスロン防水／エックスロン鋼板 t=0.4mm 1,762㎡
 目地無しスパンドレル／カラーガルバリウム鋼板 t=0.35mm 1,463㎡

POINT

屋根に軒樋がつかないため、所定の位置へ雨水を誘導する環の設置が必要で、一体型で施工できるエックスロン防水を採用いただいています。歩行用通路にはウォークウェイロールを施工し、滑りにくく歩行通路がわかりやすい仕上がりになっています。

広域穀類乾燥調製貯蔵施設増設工事（豆類製品貯蔵庫）

所在地：北海道網走郡大空町
 設計：(株)北農設計センター
 施工：(株)三共後藤建設



製品仕様

【屋根】 エックスロン防水／エックスロン鋼板 t=0.4mm 1,474㎡
 丸馳折版Ⅰ型／カラー高耐食性ガルバリウム鋼板 (SGL) t=1mm 27㎡
 【外壁】 角波／カラー高耐食性ガルバリウム鋼板 (SGL) t=0.4mm 1,645㎡
 イソバンドBL／カラー高耐食性ガルバリウム鋼板 (SGL) t=35mm 631㎡

POINT

網走国定公園と阿寒国立公園に囲まれた自然豊かな純農村地帯の中、規模、デザイン共にひときわ目を引く貯蔵施設となっております。屋根はエックスロン防水を採用いただいております。多積雪地域に特化した完全防水工法となっております。



Web版では製品名をクリックすると該当の製品ホームページへ移行します。

芽室町農協 加工馬鈴薯貯蔵施設新築工事

所在地：北海道河西郡芽室町
 設計：(株)北農設計センター
 施工：(株)市川組



■製品仕様

【屋根】 エックスロン防水／エックスロン鋼板 t=0.4mm 1,537㎡

立馳E-20／カラーガルバリウム鋼板 t=0.4mm 28㎡

【外壁】 角波／カラーガルバリウム鋼板 t=0.4mm 1,247㎡

POINT

屋根は、陸屋根や緩勾配の屋根に対応できるエックスロン防水で施工しています。軒先から垂れ落ちる雨量を分散させるために、流れ方向6mピッチに山高15mmの雨水堤を設置しています。外壁は、構内の既設建屋と色を合わせ、シルバーの角波で施工しています。

令和4年度 白糠漁港水産生産基盤整備工事 天蓋施設（-4m岸壁外）

所在地：北海道白糠郡白糠町
 設計：(株)アルファ水工コンサルタンツ
 施工：葵建設(株)



■製品仕様

【屋根】 エックスロン防水／エックスロン鋼板 t=0.4mm 1,101㎡

POINT

建物が海から近く、勾配も緩やかなため、錆に強く、勾配の影響を受けにくいエックスロン防水で施工しました。立上り入隅部を斜めに施工することで、立上り部分に雨水が溜まりにくい仕上げになっています。



Web版では製品名をクリックすると該当の製品ホームページへ移行します。

室蘭公設地方卸売市場新築工事

所在地：北海道室蘭市

設 計：(株)久米設計

施 工：大成・藤川・大基・新和・栗林機工特定建設工事共同企業体



製品仕様

【外壁】 イソバンドBL-H／カラー高耐食性ガルバリウム鋼板 (SGL) $t=35\text{mm}$ 4,265㎡
角波／カラーガルバリウム鋼板 $t=0.5\text{mm}$ 3,211㎡

POINT

眼前が海という立地に建っているため、強風にさらされる外壁にイソバンドBL-Hを採用いただき、吹き込みの可能性の少ない仕様となっています。イソバンドの外壁は高耐食性ガルバリウム鋼板のSGL (エスジーエル) を使用しています。

SUZUKI 苫小牧部品センター

所在地：北海道苫小牧市

設 計：戸田建設(株)

施 工：戸田建設(株)



製品仕様

【屋根】 丸馳折版Ⅱ型 (ダブルバック) 上弦材／カラーガルバリウム鋼板 $t=0.8\text{mm}$ 8,237㎡
丸馳折版Ⅱ型 (ダブルバック) 下弦材／カラーガルバリウム鋼板 $t=0.6\text{mm}$ 8,237㎡
【外壁】 イソバンドBL-H／カラー高耐食性ガルバリウム鋼板 (SGL) $t=50\text{mm}$ 169㎡
Kスパン／カラーガルバリウム鋼板 $t=0.5\text{mm}$ 68㎡

POINT

屋根はダブルバックを採用いただき、下弦材を逆成型することで、室内側にも外部側と同じ色 (ホワイト) が見えるようにしています。折版は長さ60mを超えるため、現場成型し1本ずつ吊って施工しました。屋根・壁共に断熱性の高い建屋となっています。



Web版では製品名をクリックすると該当の製品ホームページへ移行します。

道栄重機第一倉庫新築工事

所在地：北海道帯広市
 設計：川田工業(株)
 施工：川田工業(株)



■製品仕様

【屋根】丸馳折版Ⅱ型／カラーガルバリウム鋼板 t=0.8mm 3,496㎡

立馳葺／カラーガルバリウム鋼板 t=0.4mm 3㎡

【外壁】角波／カラーガルバリウム鋼板 t=0.4mm 1,584㎡

POINT

屋根は現場地上成型をしており、レッカーで届かない部分は、治具で運搬しながら施工しました。外壁の四隅部1スパンは屋根と同色でアクセントのあるデザインとなっています。

JA青森CAりんご貯蔵施設屋根改修工事

所在地：青森県青森市
 設計：JA全農東北広域施設事務所
 施工：三晃金属工業(株)



■製品仕様

【屋根】丸馳折版Ⅱ型 ラジアル加工／カラーガルバリウム鋼板 t=0.8mm 3,042㎡

POINT

既存屋根と同様に、軒先および水上側共にラジアル加工での丸馳折版Ⅱ型でカバー改修をしました。また、現場地上成型を行うにあたり、屋根材をジョイントする納めとしています。



Web版では製品名をクリックすると該当の製品ホームページへ移行します。

仙北市立椴木内小学校屋内体育館大規模改修工事

▶ Web 版にてドローンによる空撮動画を掲載しています



所在地：秋田県仙北市
 設 計：(有)村田弘建築設計事務所
 施 工：(株)小松建設



製品仕様

【屋根】R-T工法 @450 / フェライト系ステンレス鋼板 (NSSC220M) t=0.4mm 1,023㎡

POINT

既存ステンレス防水屋根を当社のステンレス防水 (R-T工法) により、カバー改修することで、建物の長寿命化に貢献しています。全長42mの長さの屋根を1本物で成型し、軒先・妻側・水上の全周を全溶接した防水仕様です。

常呂漁港水産物供給基盤機能保全工事 (天蓋施設A棟) R4年工事



所在地：北海道北見市
 設 計：(株)アルファ水工コンサルタンツ
 施 工：(株)丸田組



製品仕様

【屋根】丸馳折版 I 型 / カラー高耐食性ガルバリウム鋼板 (SGL) t=0.8mm 641㎡
 ガッチリタイト / 高耐食溶融めっき鋼板 (ZAM)

POINT

鉄骨と屋根を固定する部材にガッチリタイト (無溶接タイトフレーム) を使用しています。溶接火花や溶接部のタッチアップ塗装の落下防止対策が不要な仕様です。材質は塩害対策として、高耐食溶融めっき鋼板 (ZAM) を採用いただいています。



Web 版では製品名をクリックすると該当の製品ホームページへ移行します。

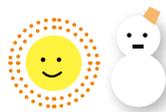


技術開発センターの試験設備……環境実験装置

暑さや寒さ、実際の温熱環境を再現して実験します

——この装置はどのようなつくりなのでしょう。

装置は左右2つの部屋に分かれていて、大きな穴（開口部）の開いた壁で仕切られています。通常は試験体を壁にはめ込んで仕切りとし、試験体の面するそれぞれの室を異なる温湿度条件にします。温度は-30℃～+80℃、湿度は20～95%RHまで設定することができるので、日本各地の環境条件をほぼ網羅し、再現することができます。



建屋の中に試験室があるんだ！

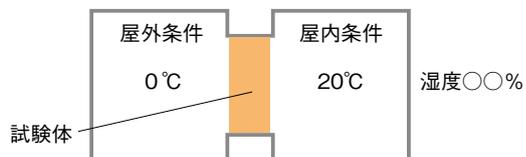


——この装置でどのような試験をするのですか。

おもに3つの試験があります。

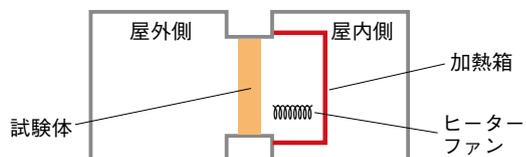
①結露試験

屋根材、壁材などの試験体に対して、例えば屋外側を冬の屋外条件として0℃に、もう片側を屋内側として20℃に設定します。屋内側の湿度設定によって、試験体に結露（水滴）が発生するかどうかを確認することができます。



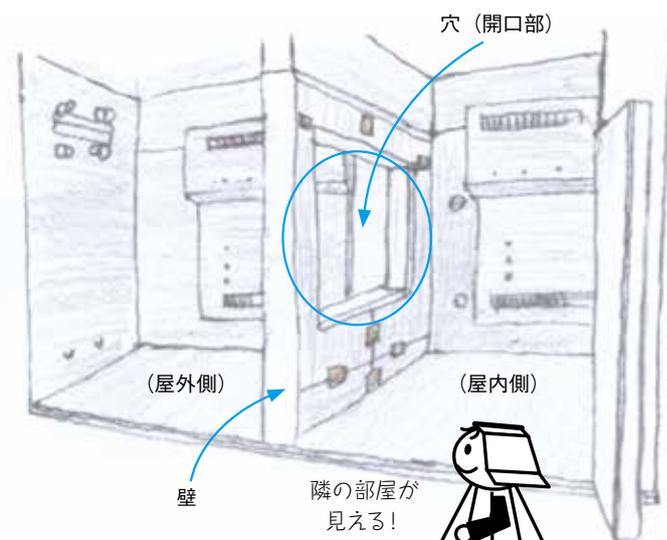
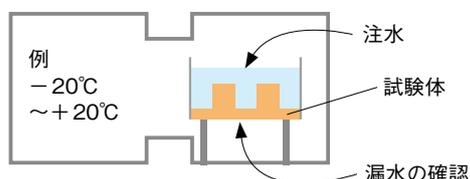
②熱貫流率試験

熱の伝えやすさを表す「熱貫流率」を測定します。この数値が低いほど、断熱性能が高いといえます。設置した試験体の屋外側を一定温度とし、屋内側をヒーターと循環用ファンで所定の温度差を保ちます。その際に必要となった電力量から熱貫流率が算出できます。



③凍結融解サイクル試験

雪国ではよく屋根に積もった雪が屋根面で溶け、夜になるとまた凍ることを繰り返す中で、屋根の隙間から水が漏れる「すがもれ」という現象が起こることがあります。そこで装置によって寒冷地の温度変化を再現。屋根材などの試験体を冠水させ凍結・融解を繰り返し、水漏れがないかを確認します。



←試験体設置完了

スイカ丸ごとだって冷やせるよ！



——この他にもどんな実験ができますか。

赤外線照射装置を用いて、日射による外装材への影響を評価することも可能です。

足し算のデザインと 時間軸を意識した建築を考える

高野洋平さん 森田祥子さん (MARU。architecture)

MARU。architectureは、これまでに住宅や集合住宅から大規模な建築まで次々と手がけ、現在も公共建築など多くのプロジェクトが進んでいます。

さまざまな形の建物を生み出しているお二人に、建築の形とそれを取り巻く環境、一貫した考えなどについて、公共建築を中心に話していただきました。

——独立前の経験で今につながることはありますか？

高野 佐藤総合計画に10年在籍し、図書館などの公共建築をいくつか担当しました。いろいろな役割の方たちと一緒に建築をつくっていくなかで、設計者がコラボレーション自体をデザインしていくという経験ができたことは大きかったですね。

森田 大学生のときから入り浸っていたNASCAで2つの小学校の設計に関わりました。そこで構造や設備も含めてさまざまなコラボレーターと一緒につくっていくことを学びました。事務所を始めてからも、構造や設備、サインやランドスケープなどの多様な方たちを巻き込みながらつくることを重視しています。

——土佐市複合文化施設は形や素材が複雑に構成されています。

高野 図書館、ギャラリー、ホールなどが一緒になった建物です。1万㎡くらいありますが、機能が分かれるのではなく自由にみんなが使えるような空間をつくりたいと考え、「道」を1つのキーワードにしました。日本では、道にいろいろなものが集まる文化があります。この街もそういうことが顕著にあります。

森田 土佐市では日曜市が道に並び、お祭りや道普請^{みちぶしん}も受け継がれ、文化が「道」でつながっている歴史のある町です。



高野 公共施設を部屋と廊下で分けるのではなく、共用部分そのものに人が集まってほしい。それで「道」の文化を引き込んでつくりたいというのが、この建築の大きな考え方です。

森田 さらに建物の入り口をオープンにすることで前の道ともうまく連携していきたい。

高野 外側のファサードは、内部にもそのまま現すことを考えました。例えば、外が市松の部分は、光の入り方で室内に模様が現れます。内部に設置された鉄骨のフレームを木で挟んだ耐震壁も、あえて外から見えるようにしています。そういう現し方をいろいろスタディして最終形に至りました。

森田 引き算でデザインする方法もあると思いますが、その先が洗練されていくだけでは人の居場所がだんだん淡泊になってしまいます。ここでは整えつつ、いろいろなものを足しながらデザインしていくことを考えました。また、効率よくきれいに並んでいるものを積極的に重

ねることで、居場所のきっかけをさらに複雑につくっています。

それぞれの場所ごとに仕上げも全部変えています。スチールのカーテンウォールの内側には図書館が入っていて、日差しをうまくカットしながら読書空間に柔らかい光を取り込んでいます。床が区切りなくずるとつながっていますが、人が留まる場所には耐火煉瓦を埋め込んで、溜まりの場所をつくるなどの細かい操作をしています。

——大阪府にある松原市民松原図書館は独特の色と形をしています。

森田 この街に当たり前のようにある古墳をイメージし、建物も自然物に近い振る舞い方ができないか、そういうたまたまは何だろうと考えるところから、設計が始まりました。

長大な壁が垂直に立つのは息苦しいと感じていて、それが斜めになった瞬間に自分との距離感やスケール感がちょっと狂わされることがあります。平面的に斜



土佐市複合文化施設 (2019)

Photo : Kai Nakamura

めにするのもそうですが、常に正対しない関係をつくることは、身体感覚にとって大事なことだと考えています。

土佐と松原で共通しているのが、建物の中をぐるぐる巡っていく体験をつくらうとしたことです。どのようにすると人が自然に上まで行くか、どのような位置で外の風景を見るだろうかと考えています。山を上っていくような感覚は、単に階段を上るのは違う豊かさがあります。

高野 外壁は色粉を混ぜたカラーコンクリートです。色粉の割合は同じでも、型枠に荒ベニヤを使用することで、表面のテクスチャーや色の現れ方が違ってきます。これがグレーのコンクリートだと要塞のように見えてしまうため、街並みと



松原市民松原図書館 (2019)

Photo : 関拓弥

調和するような色を選びました。真新しいというより、少し時間の経過を感じさせるような外観にしたいという意図からも、この色合いになりました。

——建物の内と外の関係はどのように考えていますか？

森田 建物の内と外で空間がはっきりと分かれているより、街で体験したことが建物の中に入っても連続して感じられることが大事だと思っています。そのため同じ素材が内外にわたることが多いです。松原は厚さ600mmの象徴的なコンクリートが室内にも現れています。現在設計が進んでいる伊東市新図書館は、ヒダ状の壁を中に刺さるように貫入させて、内と外の連続性を表現しています。

——金属屋根についての考えを教えてください。

高野 乾式で屋根をつくる時は、ほとんど金属を使います。金属のいいところは、そのもの自体に素材感があるし、軽さを表現できることです。

森田 壁と屋根を一体につくることが魅力的です。光の反射や透過を検討するときに、反射というつまり金属が思い浮かびます。どのように光を入れてそれを



伊東市新図書館 (2024完成予定)

反射させるのか、どれくらい鈍く反射させるのかを考えています。

金属と光との関係はすごく魅力的です。

——現在手がけている伊東市新図書館について、これまでの作品と共通する点や新たな考えを教えてください。

高野 設計で一貫していることは、居場所の違いによる空間体験や、素材や時間の尺度が違うものの組み合わせを考えていることでしょうか。

最近手がけた木造のリノベーションでは、古い構造を生かしながら現代の技術を駆使した鉄骨のフレームも使っています。新旧の構造と技術を共存させています。

建設場所の伊東市は、伊豆半島の火山活動によってダイナミックな地形が連続していて、これらは長い時間をかけてできたものです。図書館に設けたヒダ状の壁がさまざまな方向に開くことで、建築の中にいろいろな光を映し、風をなびかせ、この地の自然環境を感じる多様な空間をつくっています。

このように長い時間軸と建築が、どのように関わっていけるかを考えています。

——ありがとうございました。

高野洋平 (たかの・ようへい)
1979年 愛知県生まれ
2003年 佐藤総合計画
2013年 MARU. architecture 共同主宰

森田祥子 (もりた・さちこ)
1982年 茨城県生まれ
2010年 NASCA
2010年 MARU. architecture 設立、13年から共同主宰



三晃金属工業は 屋根のことを毎日 考えています。



金属製長尺屋根を世に送り出してから半世紀以上、皆さまの暮らしを支える屋根をより良いものにするために、私達は来る日も来る日も屋根のことを愚直に考え、こだわり続けてきました。

こだわりのひとつは「丸馳折版」。

その「版」は一体化をなす平面（例えばRC床面など）を意味します。当社は、長スパン架構可能な金属製の折版構造として開発。したがって当社の製品名は全て「板」ではなくあえて「版」の字を使用しています。

「丸馳」の「丸」にも理由があります。

屋根材同士の接合部を丸型とし、密着させずにエアポケットを設けることで、雨水などを吸い上げる「毛細管現象」を防ぐ機能を持たせています。また、円形は力を分散して均一に負担できるため、強度面でも優れています。

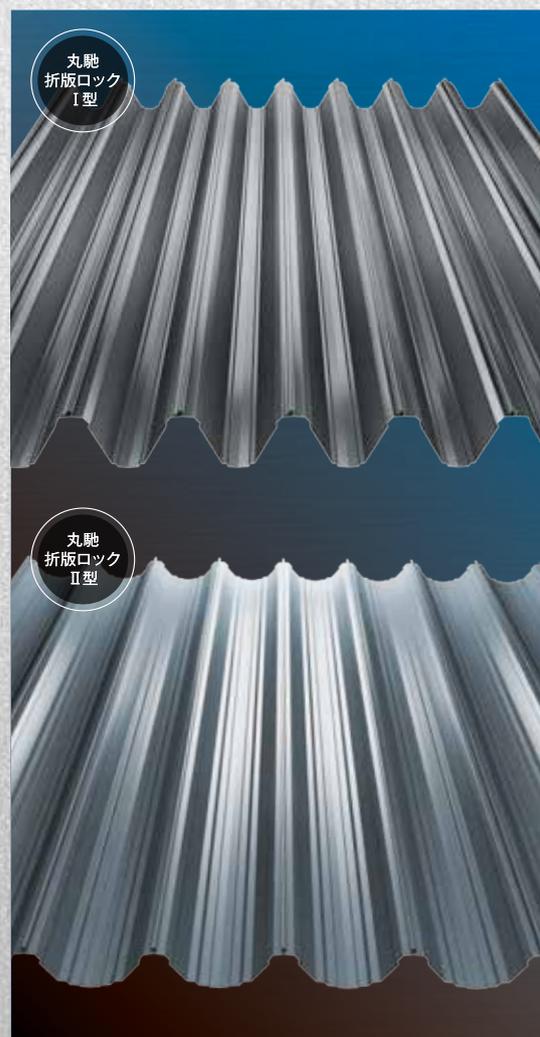
丸馳折版は近年の台風の大型化や建物の高層化に合わせて、耐風圧強度を各段に高めた「丸馳折版ロックシリーズ」に進化しています。

街のランドマークから暮らしのそばにも

新築もリニューアルも

今までも これからも 屋根にできることを

三晃金属工業株式会社



本社 〒108-0023 東京都港区芝浦4-13-23 MS芝浦ビル11F
TEL:03-5446-5600(代表) <http://www.sankometal.co.jp/>

